

精華町立小・中学校空調設備運用指針

精華町教育委員会

平成30年5月

目 次

I はじめに

1. 本指針について
2. 環境負荷低減及び児童生徒の健康への配慮について

II エアコンの操作について

1. エアコンの使用時
2. エアコンの稼働時間について
3. エアコンの稼働終了の確認

III 夏季のエアコンの稼働

1. エアコンの稼働期間について
2. エアコンの温度設定について
3. ドライミスト設備の併用について

IV 冬季のエアコンの稼働

1. エアコンの稼働期間について
2. エアコンの温度設定について
3. 石油ファンヒーターの併用について

V エアコンの適切な運用のために

1. 換気について
2. カーテン等の活用について
3. 扇風機の併用について

VI その他

1. 既存エアコンについて
2. エアコンを大切に使用しましょう
3. エアコンの各種設定について

I はじめに

1. 本指針について

学習への快適な環境を整え、児童生徒が意欲を持ち授業に臨める教育環境整備と、近年の平均気温の上昇による夏季における熱中症予防など健康面への配慮のため、一部空調設備が設置されている特別教室等以外の町内小中学校普通教室等に空調設備を導入することになりました。

そこで、平成29年度から順次設置を進めています空調設備（以下、「新設空調設備」という。）とすでに設置済の空調設備（以下、「既設空調設備」という。）について、本指針を踏まえ、適正かつ効果的に使用していただくとともに、児童生徒・教職員それぞれが、省エネ・地球環境への配慮等に対する意識をより一層高め、創意工夫した取組を推進されるよう、本指針を定めることとしました。

2. 環境負荷低減及び児童生徒の健康への配慮について

空調設備を導入することは、学習への快適な環境を提供する一方で、室外機等の排熱によるヒートアイランド現象や室温ガス（二酸化炭素等）の排出量が増えるなど環境に負荷を与えてしまうという側面を持っています。

本町では、地域特性に配慮するとともに各種行政計画などを活かしつつ、「精華町の特性を活かし、環境の保全と環境資源を利用した地域活性化」に向けた施策として、平成23年2月に「精華町環境基本計画」を策定し、中間年度の平成27年度には時点修正を行いました。

教育委員会としても町と一体となって取り組んでいくことが重要と考えております。

また、空調設備はその使用方法によっては、児童生徒の健康に悪影響を及ぼすことも考えられます。

これらのことにより、地球環境・児童生徒にやさしい空調設備の運用に努めて下さい。

II 空調設備の操作について

※学校毎に空調設備管理責任者を定めて下さい。

※操作は、必ず教職員が行って下さい。

空調設備については、平成29年度に中学校に設置が完了し、平成30年度に小学校へ設置が完了する計画です。

設置後は新設空調設備と既設空調設備が混在します。(一部学校を除く)

新設空調設備については、職員室で全教室の空調設備を集中制御する方式をとりますが、既設空調設備については、集中制御が不可能な教室等が発生します。

いずれの場合も運転の操作は必ず教職員が行って下さい。

1. 空調設備の使用時

児童生徒の体調等にあった運転を行って下さい。

外気温や室内の温度などを考慮し、児童生徒の体調等に合わせ教職員が各教室の操作パネルで運転管理を行って下さい。(集中制御可能な新設空調設備の温度設定等については、空調設備管理責任者が職員室にて行って下さい。)

2. 空調設備の運転時間について

運転時間は、午前8時30分から午後4時までの時間帯とします。

なお、体育の授業等で、使用しない教室については、必ず電源を切るようにしてください。(夏季における室温管理が必要な部屋は除く。)

上記時間帯以外に空調設備の運転を必要とする場合は、空調設備管理責任者の許可のもとに使用してください。

3. 空調設備の運転終了の確認

切り忘れの無いようにして下さい。

退勤時は全設置場所について、切り忘れがないか確認して下さい。

特に、集中制御できていない既設空調設備については、個別に確認する必要がありますので切り忘れがないようにして下さい。

Ⅲ 夏季の空調設備の運転

1. 空調設備の運転期間について

概ね6月中旬から9月中旬までの期間を基本とします。

児童生徒の体調ならびに学習環境を考慮し運転して下さい。

気象状況（比較的涼しい日）によっては、空調設備を使用しないでドライミスト設備を効果的に使用するなど、光熱水費の削減に協力願います。

2. 空調設備の温度設定について

28℃とします。

温度設定については、28℃で設定します。

ただし、教室毎に環境が異なるため、その教室を利用する教職員の判断で空調設備管理責任者に相談の上、24℃から30℃の間で一時的に変更できることとします。（※教室の温度が28℃となるように調整してください。）

<参考>

文部科学省が定めている「学校環境衛生基準」では、「教室の温度は、夏は28℃以下であることが望ましい」とされています。

また、「児童生徒等に生理的、心理的に負担をかけない最も学習に望ましい条件は、夏季で25℃～28℃程度である」とされています。

※運転の参考としてください。

3. ドライミスト設備の併用について

普通教室に設置しているドライミスト設備も効果的に併用してください。

これまでも、夏季の暑さ対策として使用してきましたドライミスト設備についても空調設備と併用して使用してください。

外気から伝わる放射熱を和らげる効果がありますので、空調設備の温度設定を上げることができます。

空調設備の設定温度を1℃上げると、電気代が5%程度安くなると言われています。地球温暖化への取組として、環境負荷低減についても考慮して使用してください。

IV 冬季の空調設備の運転

1. 空調設備の運転期間について

概ね12月上旬から3月中旬までの期間を基本とします。

児童生徒の体調ならびに学習環境を考慮し運転して下さい。

気象状況（比較的暖かい日）によっては、空調設備を使用しないようにするなど、光熱水費の削減に協力願います。

2. 空調設備の温度設定について

20℃とします。

温度設定については、20℃で設定します。

ただし、教室毎に環境が異なるため、教室を利用する教職員の判断でエアコン管理責任者に相談の上、20℃から24℃の間で一時的に変更できることとします。（※教室の温度が20℃となるように調整してください。）

<参考>

文部科学省が定めている「学校環境衛生基準」では、「教室の温度は、冬は17℃以上であることが望ましい」とされています。

また、「児童生徒等に生理的、心理的に負担をかけない最も学習に望ましい条件は、冬季で18℃～20℃程度である」とされています。

※運転の参考としてください。

3. 石油ファンヒーターの併用について

石油ファンヒーターも状況に応じて使用してください。

気温や天気の状況により、空調設備若しくは石油ファンヒーターの使い分けを行って下さい。

雨天時などは湿度が高いため、空調設備の方が快適な環境を得ることができますが、急速に教室を温めたい場合は石油ファンヒーターの方が早く温めることができます。

それぞれ、一長一短がありますので、状況に応じて使い分けをしてください。

なお、空調設備と石油ファンヒーターの同時使用は止めてください。

V 空調設備の適切な運用のために

1. 換気について

教室内の環境保持のために、適宜、扉や窓を開け、十分な換気に努めてください。

清掃時間中は、一旦電源を切って、窓を開けて清掃してください。

運転したまま清掃すると、空調設備のフィルターにほこりが詰まり、故障の原因になります。チョークの使用でほこりが浮遊する場合は、窓を開けて換気に努めてください。

2. カーテン等の活用について

空調設備の運転中は扉や窓を閉め、状況に応じてカーテン等を活用して、エネルギーの節減に努めてください。

カーテン等を閉めることで、外気温を遮断し、効率よく教室内の空調ができ、エネルギーの節減にもつながります。

3. 扇風機の併用について

夏季の冷房運転時は扇風機の併用が有効です。

扇風機を併用することで、床付近にたまりがちな冷気を教室内全体に効率よく循環することができます。そのことにより、体感温度を下げ、より涼しく感じることができ、空調効率も上がり、エネルギーの節減にもつながります。

VI その他

1. 既存空調設備について

既存空調設備の使用にあたっては、本運用指針に準じてください。

2. 空調設備を大切に使用しましょう。

施設等を大切に長く使うことは、資源やエネルギーの節約になります。

設置された空調設備（室内機、室外機、配管等）を破損することのないよう、大切に取り扱いってください。児童生徒にもその旨を十分に周知してください。

また、エネルギー効率が下がらないように、室外機の周辺には物を置かないでください。

3. 空調設備の定期的な清掃について

空調設備の室内機のフィルターを定期的に掃除してください。

フィルターの目詰まりがあると空調効率が悪くなります。定期的に清掃することで、効率が良くなり、教室内の温度管理がしやすくなります。これにより、エネルギーの節減につながりますので、定期的な清掃をお願いします。

4. 空調設備の各種設定について

新設空調設備のリモコン設定については、全校同一の設定とします。

なお、運転状況、光熱水費及び学校の意見などを参考に変更することがあります。